

風の子テイキャンプ

- 開催日 2019年1月27日
- 会場 多摩川河川敷（川崎市多摩区）
- ディレクター名 工藤 伸也（しんちゃん）

■キャンプのねらい

- 外遊びを思いっきり楽しみ、また来たい！やりたい！という言葉が自然と発せられる。
- 遊びの中から自由な発想を生み出す力を育む。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ねずみ、ケロ、たけ、ラミ、えんたー、まっすー、こうたろう

■活動内容

<午前>
集合
和泉多摩川地区センター到着
凧づくり
多摩川河川敷に移動
昼食

<午後>
ぐにゃぐにゃ凧あげ
おやつタイム
多摩川河川敷出発
解散



まずは屋内に入って凧づくり。様々な素敵な作品が出来ました。



河川敷でお昼ごはん。少し遅くなったのでべこべこだったようです。



河川敷は魅力がいっぱい。木の枝でオブジェ作りに挑戦中。



川に向かって石を投げ、どれだけ飛ばか競い合っていました。



凧あげスタート。風が強く、走らなくても簡単にあがりました。



風が弱まれば、走って高さを調整していました。

■キャンプのエピソード

外遊びは無限大

今回のキャンプは「凧あげ」というテーマでしたが、お昼ごはんの後などに自由に遊ぶ時間もありました。そこで、早く食べ終わった子どもから順々に河川敷に繰出します。川に近づき石を投げ、飛距離を競い合う遊びをしたり、近くに落ちている様々な枝を組み合わせることで大きなオブジェを作り、楽しんでいました。

自由に駆け回って遊ぶ時間こそ大切に、河川敷の魅力を経験すると共に、外遊びの原体験となるのだと思います。

自分で作った凧をあげる楽しさ

凧の大きさやデザインは子どもたちが決め、オリジナルの一品を作り上げました。想いを込めて作った凧をあげるのはドキドキの時間です。すぐにコツを掴み上手にあげられる子どももいれば、あまり高くあがらない子もいました。そこで、アドバイスをしようと声をかけると「たのしい！」と言いながら満面の笑みで返してくれました。その子にとっては上手にあげられることよりも、自分で作りあげた達成感の方が勝っていたのだと思います。そんな達成感を味わい楽しいキャンプを今後も目指していきます。